

琉球大学学術リポジトリ

鶏卵の価格

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 祐一, Matsuda, Yuichi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20010

鶏卵の価格

沖繩の鶏卵価格とその変動、又日本の一大消費市場である東京における鶏卵価格の変動や沖繩との比較を知ることも、あながち無益でもあるまいと思つて本調査をやつてみた。沖繩の鶏卵価格については、企画統計局発行の琉球統計報告により、東京のそれは、雑誌「鶏の研究」によつた。

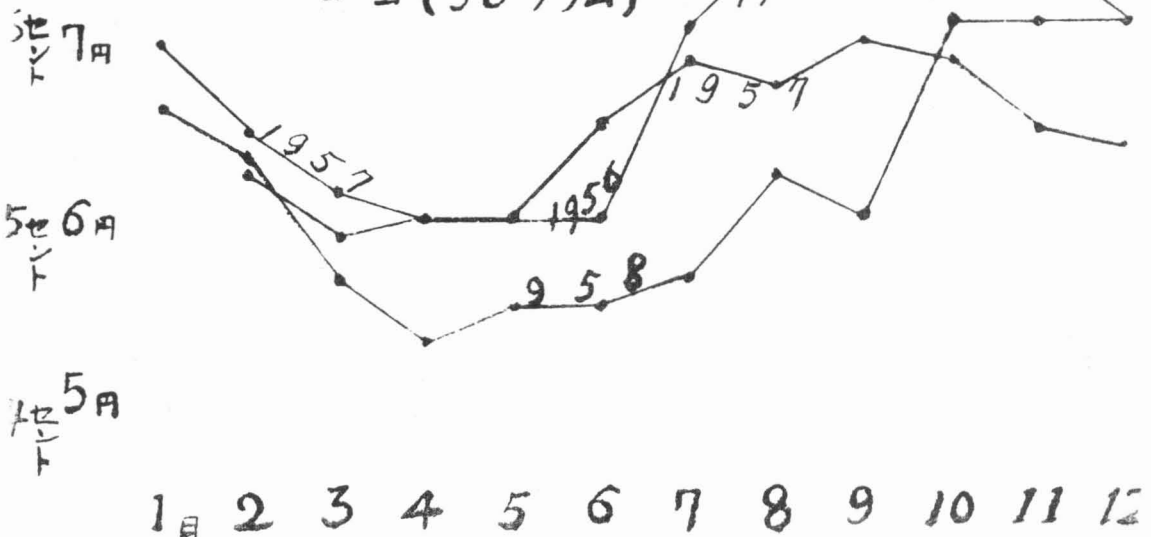
まず表によつて那覇市場の小売価格をみると卵一個（十五匁、五十六瓦）の価格は、昨年もつとも安かつた時期は四月で五円二九銭、最も高かつたのは十、十一、十二月で六セント（七円二十銭）となつてゐる。これは沖繩で、できた卵即ち地玉の価格であるが那覇市場では、地玉も輸入卵も殆んど同値であるのは、ちよつと不思議である。沖繩で養鶏が産業として脚光をあびてきたのは一九五六年頃からであるが、それから三カ年の卵価の変動をみると、毎年三、四、五月の産卵期には安くなり、七月から上昇して八、九、十月が最高値を示し、年末から翌春にかけて、だんだん安くなつてゐる。養鶏家の皆様の販売価格と比較してみて下さい。

東京では昨年の安値は三月で、B円に換算して、一個（五六グラム）三円一〇銭で、那覇より一個に付二円二〇銭安く、最高値は十月の五円で、那覇よりやはり二円二〇銭安くなつてゐる。この価格は那覇市場は小売価格であり、東京市場の価格は、卸の高値であるから、小売値は、もつと高いことが考えられますが、東京と沖繩とは相当の価格差があるのはみとめられます。

東京市場の過去三カ年の変動は、三月が最も安く六月から上昇して八月から十月の間に最高値を示し、その後は徐々に、下降してゐる。この点は沖繩も、東京も似てゐる。筆者は、沖繩の夏は高温で、卵は腐れ易いから、七月八月の卵価は輸入卵の価格とは別に高騰を予想したのであつたが、その傾向は少ないようである。いずれにせよ沖繩は卵価から見ると、日本内地よりも、めぐまれた土地であることがわかる。いよいよ七月から卵価上昇の時期であり反面、産卵は減少する暑さとなるから、にわとりを暑さからまもり、出来る限りよい環境を作つてやつて、この卵価高の時期に沢山産ましたいものである。

（松 田 祐 一）

鶏卵小売価格 ナハ市場
一コ当(56グラム)



鶏卵価格月別変動表 東京



写真や図を中心にみる

琉球の農作物主要病害虫

(8)

病害

イモチ病

宿主 イネのほか、まれにムギ、アワなどにも寄生する。

発生 一二期作を通じ、年中その発生をみる。

高温多湿を好み、特に雨のあとや露などにより葉に水滴がつく場合には伝播が著しい。

病徴 発生部位により、葉イモチ、節イモチ、穂くびイモチ、枝梗イモチ、ゴエイイモチあるいはモミイモチなどの名称があり、又苗の時期に発生すれば苗イモチと呼んでいるが、病原菌は一種である。

葉では、はじめ暗い緑色の小斑ができ、紡錘形又はひし形になり、病斑につらなる葉脈はかつ変する。

病斑はのち融合して不規則の病斑となり、色もしだいに灰緑色から灰色となる。さらに古くなると中央灰白色、周辺はかつ色となる。

病菌 分生子梗は気孔から数本むらがつて出る。

先の方は多少曲つている。長さ八〇—一六〇、幅四—六ミクロン。二—三個の隔膜がある。

分生子胞子は長卵形、紡錘形で、二個の隔膜を有し、無色または褐色を呈し、長さ二〇—三三、幅六—一三ミクロン、最適温度はセツシ二七—二九度。

防除

一、苗代の厚播き、本田の密植、深植をさける。

一、特に窒素肥料の過用をさげ、施肥時期をおくらすぬように注意する、